

履修証明プログラム 人的資源の活性化

Human Capital Management and DX	人的資本経営と DX Human Capital Management & DX	選択	単位
学期・曜日・時限	春・月・6限	-	-
担当教員名	一守 靖		
<p><講義の概要と目的></p> <p>産業構造の転換や企業経営を取り巻く不確実性の増大といった環境において日本経済の活力を再び高めるべく、人々の知識、スキル、能力、組織の構造、業務プロセス、組織文化などを指す「人的資本」への投資が重視されています。</p> <p>本講義では、「企業による人的資本への投資」について受講者とディスカッションをしながら考え、次いで人的資本経営の実際、ならびに人的資本経営を促進するためのDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについて学びます。</p> <p>本講義は、2つのパートで構成しています。</p> <p>第1のパートでは、人的資本の考え方および基礎的な理論、並びにその測定と開示に関する世界の動向を学びます。</p> <p>第2のパートでは、人的資本経営の実践例、および人的資本経営をサポートするDX（デジタルトランスフォーメーション）の実際について学びます。</p> <p><到達目標></p> <p>人的資本の概念を正しく理解し、人的資本経営を推進する上で重要となるフレームワークについて学ぶことによって、自組織における人的資本経営をリードできる力を習得します。</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>講義全体を通して、担当教員から受講生に対して質問を投げかけることによって、双方向のディスカッションを生み出します。</p> <p><講義計画></p> <p>1回目：<人的資本とは何か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：人的資本の定義を確認したうえで、人的資本の測定と開示に関する各国および我が国の取り組みを振り返ります。 <p>2回目：<いまなぜ人的資本経営が必要なのか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：人的資本経営の必要性について学びます。 <p>3回目：<人的資本経営と戦略的人材マネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：人的資本経営と戦略的人材管理の考え方について学びます。 <p>4回目：<人的資本経営は企業価値を向上させるのか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：人的資本経営と企業価値向上との関係について学びます。 <p>5回目：<人的資本の測定と開示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：組織のどのような人的資本を測定し、開示すべきかについて学びます。 <p>6回目：<人的資本経営の実際①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：人的資本経営に取り組んでいる日系先進企業からゲストを招いて学びます。 <p>7回目：<人的資本経営の実際②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：人的資本経営に取り組んでいる外資系先進企業からゲストを招いて学びます。 <p>8回目：<人事DX①：人的資本測定の自動化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：人的資本の測定・開示を自動化する取り組みについて外部企業からゲストを招いて学びます。 <p>9回目：<人事DX②：労務管理の自動化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：労務管理の自動化・省力化の取り組みについて外部企業からゲストを招いて学びます。 <p>10回目：<総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：受講者が所属する、あるいは興味がある企業を題材として、本講義で学んだ人的資本経営モデルを適用して考察します。 			

<p><講義の進め方> 1 回目から 5 回目までは、講義を中心としつつ、担当教員が提示する問いに対してディスカッションを行う形で講義を進めます。 6 回目から 9 回目までは、外部ゲストから、その先進的な取り組みを学びます。 10 回目は本講義の総括として、受講者各自が選定する企業の人的資本マネジメントについて、本講義で紹介する人的資本経営のモデルと照らして考察のうえで発表してもらい、受講者全員で議論します。</p> <p><講義計画>に記載の通りで進めていく予定ですが、受講者の理解の度合いによって適宜内容を修正する場合があります。</p>
<p><事前事後学修内容> 事前：各回の講義のテーマについて自分なりの意見をまとめたうえで参加してください。 事後：各回の講義で習った内容を、自分が所属する企業、あるいは興味を持つ企業に照らして考察してみてください。</p> <p><予習・復習時間> 各回の予習・復習には計 4 時間相当かかると想定されます。詳細は毎回の講義時に指示します。</p>
<p><教科書及び教材> 一守靖 (2022) 『人的資本経営のマネジメント』 (中央経済社)</p>
<p><参考書> 必要に応じて講義時間内外に適宜紹介します。</p>
<p><成績評価方法> 欠席 4 回以上は成績評価しません。 講義後レポート、ディスカッションへの参加度・貢献度を 3:7 の比率にて評価します。</p> <p>講義後レポートの詳細は、講義の後半にお知らせします。</p> <p><課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法> 授業内で発表していただいた内容に対してフィードバックを与えます。</p>
<p><履修条件> 特にありません。</p>
<p><ディプロマポリシーとの関連> アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当</p>
<p><録画映像の視聴> 可</p>
<p><オフィスアワー> 月曜日 4 限。面談の重複を避けるためにメールにてご連絡ください。</p>
<p><その他> 特になし</p>